

ニコニコ箱

ありがとうございました

八幡 建二さん 今年もあと3ヶ月となりました。

谷口 文利さん 赤井さん、頑張ってください。

山本 進三さん 赤井さんクラブフォーラムよろしくお祈りします。

亀田 直紀さん 赤井さん、がんばれ。

角谷 芳伸さん 赤井君、卓話よろしくお祈りします。

瀧川 嘉彦さん 赤井さん卓話よろしくお祈りします。

檜畑 友洋さん 赤井さん、卓話ががんばって下さい。

赤井 雅哉さん 職業奉仕月間です。お耳よごしですががんばります。

村田 昌之さん 「職業奉仕」はロータリーの原点です。

上中 崇司さん 赤井さん、本日はよろしくお祈りします。

佐藤 義記さん 赤井さん、本日宜しくお祈りします。

阪神タイガース応援団一同

本日の累計 22,920円(計11名 12件)(誕生日献金 108,000円 皆出席表彰 5,000円 その他 593,720円 累計額 706,720円)

	クラブ名	日 時	内 容
市内ロータリークラブ情報	和歌山城南R.C.	10月10日(木)	卓話「米山月間にちなんで」米山奨学生 王 叶楠さん
	和歌山南R.C.	10月11日(金)	卓話「東海、東南海、南海地震について」 和歌山県総務部危機管理課総合防災課副課長 横山 達伸さん
	和歌山中R.C.	10月11日(金)	フリートーク
	和歌山北R.C.	10月14日(月)	祝日休会
	和歌山アゼリアR.C.	10月14日(月)	祝日休会
	和歌山R.C.	10月15日(火)	卓話「東燃ゼネラル石油㈱和歌山工場のご紹介と今後の展望について」 東燃ゼネラル石油㈱和歌山工場長 角田 知紀さん
	和歌山西R.C.	10月16日(水)	卓話「社会を明るくする運動について」和歌山保護司会犯罪予防部副部長 宮本 二さん
	和歌山東南R.C.	10月16日(水)	卓話「米山月間について」第2640地区米山記念奨学会委員長 谷野 一彦さん

本日の例会 10月10日(木)	前回の例会 10月3日(木)
<ul style="list-style-type: none"> ● クラブフォーラム「米山記念奨学会」 ● 卓話「米山月間にあたり」 2640地区米山学友小委員会委員長 坂本 正人さん 米山記念奨学生 曹 禎敏さん ● ピアノ演奏 中井 利枝さん 水辺にて(倉本 裕基) 幻影(倉本 裕基) 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラブフォーラム「職業奉仕」 ● ロータリーソング 岸裏 廣澄 ソング副委員長 「奉仕の理想」
次回の例会 10月10日(木)	メイキャップ 敬称略
<ul style="list-style-type: none"> ● 卓話「人生で出会った人々」 和歌山放送パーソナリティ 小林 睦郎さん 	10月7日(月) 和歌山北R.C. 内畑 瑛造

出席報告	会員数 43名(内出席規定適用免除会員15名) 乾 敦雄 出席委員長	皆さん、出席してください。
10月 3日(本 日)	26名 76.5%	9月19日(メーキャップ後)
	30名 81.1%	(欠席7名)

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日

例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



ENGAGE ROTARY

CHANGE LIVES

凛として原点に

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**


URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2013~2014年度 和歌山東ロータリーのテーマ

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ

2013年10月10日(木)
週報 / VOL.55 No.14
(通巻2607)

● **会長報告** 村田 昌之 会長




見上げればいつの間にか空が高くなっています。まさしく“天高く馬肥える秋”に突入しました。しばらくは余裕を作って季節の中に身を託し、秋を楽しみませんか。

10月は職業奉仕月間、米山記念奨学月間です。また地区大会が10/26(土)~10/27(日)の両日に行われます。

10/26(土)は、スターゲイトホテル関西エアポートで本会議が、午前中の関連委員会会議に続いて14時から始まります。R.I.会長代理R.I.第2630地区バスターガバナー大橋廣治氏の基調講演があります。

10/27(日)は10時より会場を国際障害者交流センタービッグ・アイに移して行われ、プロ野球解説者野村克也氏の「我が野球人生」と題しての記念講演があります。会員の皆様方多数のご参加をお願いします。大会第1日目のR.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会には、会長夫妻、幹事で参加する予定です。

● **幹事報告** 上中 崇司 幹事



- ・串本ロータリークラブより、竜巻被害支援金のお礼状がまいっております。
- ・こぼと学園だより、JCニュース・・・回覧
- ・クール・ビズは今週をもって終了させていただきます。

● **2013~2014年度 第6回理事会議事録** ●

日 時：平成25年9月19日(木) (13:40~) 場 所：華月殿 4階 会議室

- 議 題**
1. 2640地区への地区資金等の送金について。
地区予算が否決されている中、対応を協議したところ、村田会長に一任することとなり、9月27日づけで、地区から示された金額(地区資金はじめ上半期送金分)をすべて送金した。
 2. 例会休会規定について
ロータリーの新规定により当クラブ8月15日の休会が祝日扱いとなったため、今後のスケジュールにおいて休会を一回追加できるようになった。
追加するかしないか、またする場合の日程については幹事に一任された。
 3. 「串本町竜巻被害支援のお願い」について
地区より串本町に対する義捐金の拠出要請があり、義捐救済金より5万円を拠出することを決定した。
 4. その他
林さん、伊東さんの歓迎会を10月初めまで開催することに決定した。

報告事項

- ・吉田委員長より、こぼと学園夜店抽選会の支出37,000円の報告があった。また作成した看板については今後も使えるものになっている。
- ・こぼと学園関連の今後のスケジュールは、みかん狩り(11月10日)・もちつき(12月14日)の報告があった。
- ・乾委員長より、クリスマス例会は12月15日(日)ダイワロイネットにおいてビンゴ等楽しい内容にし、アトラクションについては「管弦五重奏」で調整を進めている旨の報告があった。

クラブフォーラム 「職業奉仕」

赤井 雅哉 委員長



この卓話のため職業奉仕を勉強しないといけないので、ネットでロータリー、職業奉仕を検索し、角谷浩二さんの文章やロータリージャパンのサイト、また今期地区奉仕委員長で当クラブの松田洪毅さんのお話を参考にさせていただきました。

ロータリージャパン

クラブ定款より

ロータリーの5大奉仕部門（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕）は本ロータリークラブの哲学および実際的な基準である。

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中での奉仕の理想を生かしていくという目的をもつものである。会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行う事が含まれる、とあります。

職業奉仕 手続き要覧2010

第二奉仕部門。ロータリアンが職業の尊さと価値をクラブの他の会員に示す機会であるとともに、キャリア計画、職業研修、職場での高い道徳的水準の推進といったプロジェクトを実施するというクラブの責任でもある。

職業奉仕はクラブと会員両方の責務です。「四つのテスト」に、職業奉仕の精神が生きています。具体的には各会員の職業を生かし、青少年に対し職業指導として就職相談を行ったりしています。特に日本では職業倫理についての関心が高く、「職業奉仕こそがロータリーのロータリーたるゆえんである」と言われています、と書かれています。

前出の角谷さんの資料の「職業奉仕とは何か」の報告で、ロータリー運動は倫理運動である。会員の職業倫理を高めること、と言い切っています。そして、この中のテーマに職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するのか、という難しさと説明に多くの時間をとってありました。確かに難しいと感じました。

しかし、今年度の地区活動方針は明瞭です。時代の変化に対応する柔軟性を持たせ、時代の変化と共に各クラブが更に発展、充実した奉仕活動ができるように、国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕を一つにまとめて、より良い奉仕プロジェクトに力が結集出来るように組織改革を行っています、とあります。ただこれは地区73R.C.中47R.C.が30名未満である現状を鑑みての取り組みでもあると報告されています。

ここで、「職業奉仕月間よせて」ということでガバナー月信に寄稿された国際ロータリー第2640地区奉仕委員会松田洪毅委員長のお話を紹介させていただきます。

今年度の奉仕委員会は、久保治雄ガバナーの強い地区改革の方針で地区組織の簡素化を全面に打ち出しております。社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕を一つにまとめ「奉仕委員会」としました。これは、久保ガバナーが時代の変化に対応する柔軟性を持たせ、時代の変化と共に、各クラブにさらに発展、充実した奉仕活動ができるように一つにしました。さらにより良い奉仕プロジェクトに力が結集出来るようにと組織改革をしたものです。

今年度の職業奉仕活動には…

四つのテストを深く繰り返し奨励し、地域社会に生きる人々と共生・共働・相互扶助の心を持って活動することを本年度のテーマにさせていただきました。

RIテーマはロン・D・パートン会長は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」と発表しております。久保治雄ガバナーはそれを受けて、地区方針に「相互扶助“mutual aid”世界政治の混乱、経済の先行き不安、今こそメンバーと家族、ともに働く仲間と地域社会に生きる人々との共生共働こそロータリーイズムの原点であることを確認する」と言っています。この言葉の意味こそ私達ロータリアンは自分自身の職業を通じて社会に手をつなぎながら光を当てて行くと言う職業奉仕活動であると私は感じております。

我が和歌山東ロータリークラブの重鎮でRI2640地区パストガバナーも務めました嶋 良宗氏（故人）が1989年～1990年にロータリーについての手記を発行されました。その中に「職業奉仕の今日的意義」と題して執筆されております。一部抜粋の中で職業奉仕は「ものの価値観は時代とともに変わるものだ」と言っております。またその中で1990年にRIは50年振りに職業奉仕に関してロータリーの将来への一層の発展を期す為に見直しの第一歩を取り上げたことと記されております。記録によりますと、当時のRI副会長ウィリアム・T・サージャント氏を委員長として、他にイギリス人2名、アメリカ・フランス・ニュージーランド・パナマから各1名ずつと、我が国日本からは服部礼治郎氏パストガバナーの計7名でアメリカ・エバンストンで慎重審議が有り、「職業奉仕に関する新方針」が提示されたとあります。

ロータリーの活動は時代の変化に対応しながらも「ロータリーの奉仕の理想」は変わらず普及・浸透させ、ロータリーを拡大するための基本が職業奉仕であることはこれからも変わることはありません。そして「職業奉仕は、クラブとしてやるべきではなく、各会員が個人的にやるべきことである」と日本ではこんな便利で分かりやすい言い方で何度も繰り返し言っています。

しかし自分の職業を通しての奉仕も、人の為世の為になるには高い倫理性の心を持って取り組まなければなりません。そこには、他人への思いやり、助け合いの心、公明正大な精神で行動する事が求められています。

この事こそが今年度、久保治雄ガバナーが唱えている相互扶助の心であります。皆さん方も今一度、地区方針「相互扶助」を考えて頂き、職業奉仕活動に更に取り組んで頂きますようにご期待申し上げ、一筆啓上させていただきました。

奉仕は一つとしてもらった方が簡単な気がします。しかも実践という点では特に活動しやすい気がします。

しかし、3つの奉仕は別であると理解する重要性も大事な気がします。予算の点や委員の点でも重点を決めて活動しやすい気がします。この傾向がずっと続くのかはまた気になるところであります。